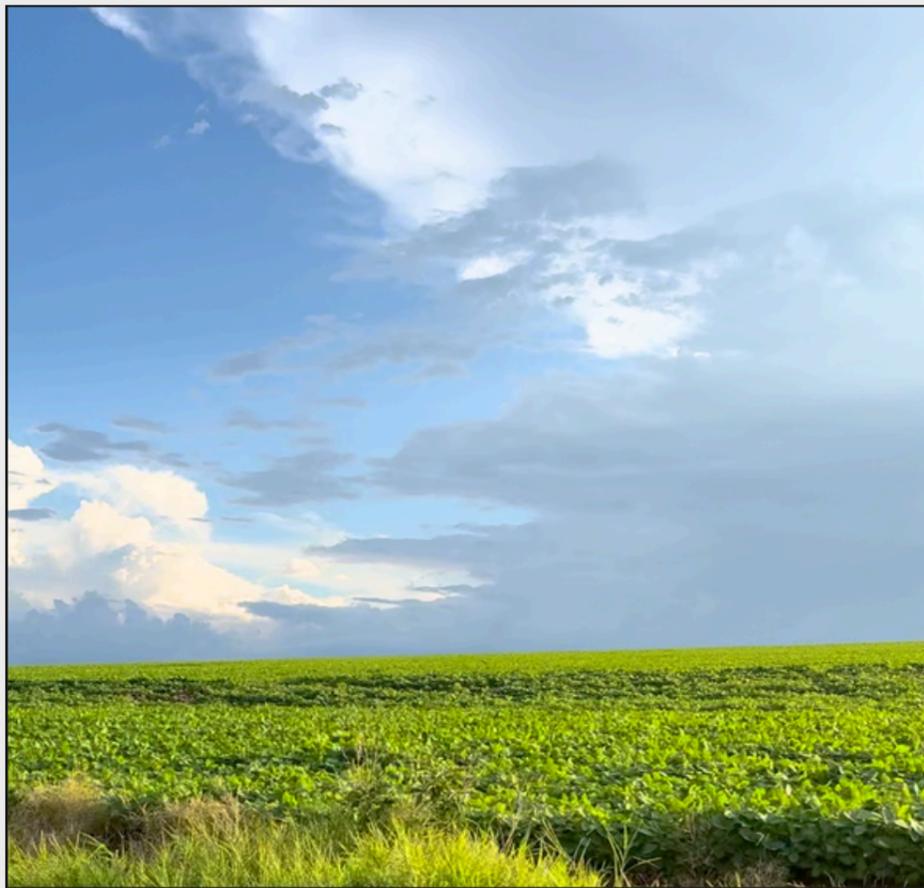


ピラポ移住地



Pirapo



ピラポってどんな場所？

広大な農地が広がる移住地

ピラポ移住地はパラグアイで4番目に設立された日系移住地です。ピラポ市の総面積は約 84,000 ヘクタール（京都市と同じくらい大きさ）で基幹作物は大豆で冬作には小麦が栽培されています。「ピラポ」とは、パラグアイの現地語であるグアラニー語で「ピラ」は魚、「ポ」は手を表し、「魚が手づかみできるほど多い」という意味です。農作物のみならず魚にも恵まれ、毎年釣り大会が開催されます。

📣 本格的な相撲大会と大人気の釣り大会



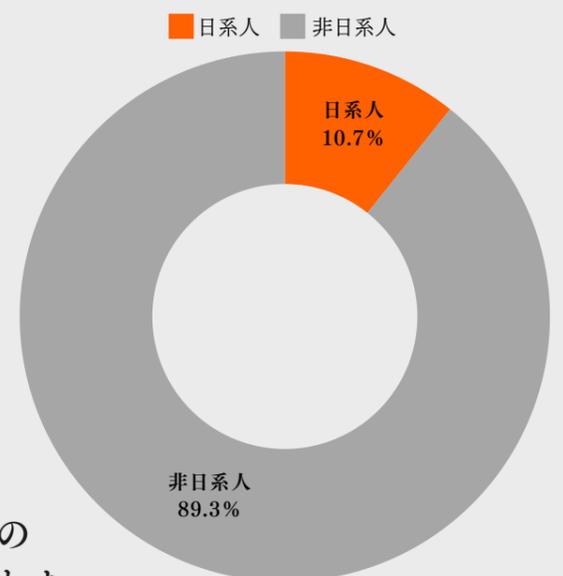
ピラポ日本人会の敷地には土俵が設置され、毎年8月の入植際に合わせて相撲大会が開催されています。また10月には釣り大会が開催され、ドランドと呼ばれるパラグアイの大型の魚を狙います。どちらの大会も歴史があり、移住資料展示室ではその歴史を見ることができます。

人口

ピラポ市：約1万人
日系人：約1,200人

※2024年10月時点

2025年には歴代3人目の100歳を迎える方がいます。



ピラポ日本人会



ピラポ日本人会は1988年から現在の名前で活動しています。ピラポ移住地は元々アルトパラナ移住地と呼ばれていましたが、隣接するアルトパラナ県と混同されるためピラポ移住地と改名されました。日本人会の敷地には、ピラポ日本語学校及び付属幼稚園、多目的ホール、パークゴルフやサッカーなどが楽しめる総合公園、グラウンド、相撲場など様々な施設があります。

社団法人 ピラポ日本人会

[所在地] パラグアイ国-イタプア県-ピラポ市-中央地区

[電話番号] (+595) 768-245-223

[E-mail] piraponihonjinkai@hotmail.com / piraponihonjinkai@yahoo.co.jp



小中学校



小中学校



幼稚園

ピラポ日本語学校は小学校、中学校が同敷地内にあります。幼稚園は日本人会の敷地内の別の場所に位置します。生徒数は小中学校が約120人、幼稚園が約30人です。生徒達的で、動画やネットを通じて日本語に日常的に触れている生徒もいます。

ピラポ診療所及び薬局

日本人会が経営する小規模私立診療所であり、入植当初（1961年）は日系移住者向けの医療ケアサービス機関として設立されましたが、現在では地域住民全般に対して医療サービスを提供しています。7つの入院室と2つの救急処置室があり、内科、外科、小児科、産婦人科、眼科、歯科の他にも、24時間体制の緊急診療や、看護師による訪問診療を行っています。日系人医師と、日系人医療スタッフが在籍しているため、日本語で受診できます。

イタプア県の
ひまわり

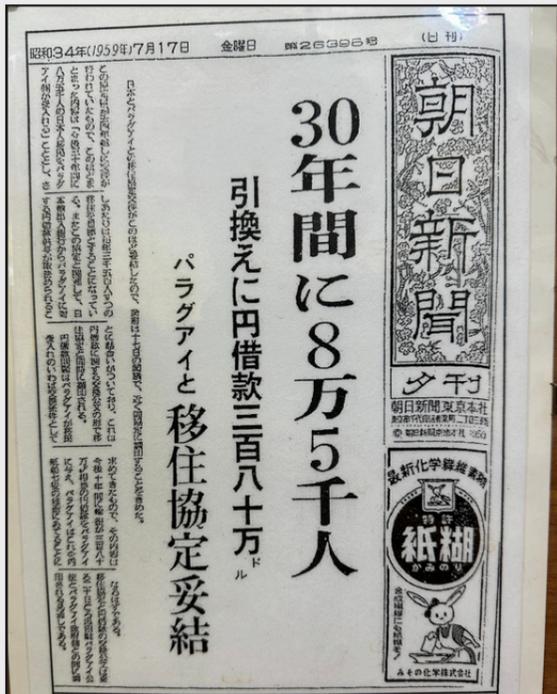


イタプア県ではひまわりが生産されており
10～11月頃には満開になります。



移住資料展示室

日本人会の敷地内には「移住資料展示室」があります。1960年の入植時から現在に至るまでの生活用品や農業器具など様々な物品と、数百枚の写真が展示されています。ピラポ移住地は岩手県、高知県、愛媛県からの移住者が多く、日本から持ってきた精米機やレコードの一つ一つから当時の様子を鮮明に垣間見ることができます。



ピラポ農業協同組合

ピラポ移住地の主な事業は大型機械化農業による大豆栽培です。また、小麦、トウモロコシ、菜種なども栽培され、ピラポ農業協同組合に出荷されています。

ピラポ農業協同組合スーパーマーケット

ピラポ農業協同組合が経営するスーパーマーケットです。ここでは日本のインスタント食品やラーメンが手に入ります。また日系人手作りの納豆、どら焼き、ようかん、キムチなどもあります。さらに、パラグアイは内陸国ですが、ここでは海外から取り寄せた海の魚介類が販売されています。レジでは日本語での買い物ができます。



ピラポ移住地の日系社会についてさらに詳しく知りたい方は要チェック！！

<https://x.gd/GVK5P>